

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 5 月 8 日(2024.5.8)

【公開番号】特開 2023-165856(P2023-165856A)
【公開日】令和 5 年 11 月 17 日(2023.11.17)
【年通号数】公開公報(特許)2023-217
【出願番号】特願 2023-163091(P2023-163091)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

10

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 4 月 25 日(2024.4.25)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

遊技球が入球可能な始動入賞口と、
開状態と閉状態を採り得る大入賞口と、
始動口への遊技球の入球を契機として当否判定を実行する当否判定手段と、
当否判定の結果を示す特別図柄が変動表示および停止表示される図柄表示装置と、
当否判定の結果が当選となる場合に、大入賞口の開放を伴う特別遊技を実行し得る特別
遊技実行手段と、
を備え、

30

当否判定の結果を演出的に示す図柄の表示として、第 1 図柄の変動表示および停止表示
と、第 2 図柄の変動表示および停止表示とを表示可能に構成されており、
第 1 図柄を仮停止表示する際に第 1 図柄の表示態様が所定態様へと変化可能である一方
で、第 2 図柄の表示態様は当該所定態様へと変化しないよう構成されており、
第 1 図柄は所定の予告演出と重畳表示し得る一方で、第 2 図柄は当該所定の予告演出と
重畳表示しないよう構成されており、
第 1 図柄は現在の演出形式が第 1 演出形式であるか第 2 演出形式であるかに応じて表示
位置が相違し得る一方で、第 2 図柄は現在の演出形式が第 1 演出形式であっても第 2 演出
形式であっても表示位置が同一となるよう構成されており、

40

所定の音量調整操作を契機として所定の音量調整画面を表示可能に構成され、第 1 図柄
は所定の音量調整画面と重畳表示し得る一方で、第 2 図柄は当該所定の音量調整画面と重
畳表示しないよう構成されている
ことを特徴とするぱちんこ遊技機。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 6
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 6】

本発明のある態様の遊技機は、
遊技球が入球可能な始動入賞口と、

50

開状態と閉状態を採り得る大入賞口と、
始動口への遊技球の入球を契機として当否判定を実行する当否判定手段と、
当否判定の結果を示す特別図柄が変動表示および停止表示される図柄表示装置と、
当否判定の結果が当選となる場合に、大入賞口の開放を伴う特別遊技を実行し得る特別
遊技実行手段と、
を備え、
当否判定の結果を演出的に示す図柄の表示として、第1図柄の変動表示および停止表示
と、第2図柄の変動表示および停止表示とを表示可能に構成されており、
第1図柄を仮停止表示する際に第1図柄の表示態様が所定態様へと変化可能である一方
で、第2図柄の表示態様は当該所定態様へと変化しないよう構成されており、
第1図柄は所定の予告演出と重畳表示し得る一方で、第2図柄は当該所定の予告演出と
重畳表示しないよう構成されており、
第1図柄は現在の演出形式が第1演出形式であるか第2演出形式であるかに応じて表示
位置が相違し得る一方で、第2図柄は現在の演出形式が第1演出形式であっても第2演出
形式であっても表示位置が同一となるよう構成されており、
所定の音量調整操作を契機として所定の音量調整画面を表示可能に構成され、第1図柄
は所定の音量調整画面と重畳表示し得る一方で、第2図柄は当該所定の音量調整画面と重
畳表示しないよう構成されている
ことを特徴とするぱちんこ遊技機である。

10

< 付記 >

20

尚、本発明の別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定されることな
く実施することが可能である。

本別態様に係る遊技機は、
遊技の進行を制御する主遊技部と、
演出を表示可能な演出表示部と、
演出音を出力可能なスピーカと、
遊技者が操作可能な操作部材と、
演出表示部への演出表示を制御する副遊技部と
を備え、

スピーカから出力可能な演出音の種別として、第1種別及び第2種別を少なくとも有し
ており、

30

遊技者による操作部材への操作に基づき、スピーカから出力される演出音の音量レベル
を変更可能に構成される一方で、遊技者による操作部材への操作に基づき、スピーカから
出力される演出音の音量レベルを変更する場合には、第1種別の演出音に係る音量レベル
を変更せずに第2種別の演出音に係る音量レベルを変更可能に構成されている
ことを特徴とするぱちんこ遊技機である。

40

50